



豊里

## 文化財を守り伝える責務担う

「文化財防火訓練」は1月26日、平筒沼農村文化自然学習館で開かれ、地域の自主防災組織や消防団員、婦人防火クラブ員など70人が訓練しました。  
訓練前には、豊里小中学校運営協議会委員の守屋博<sup>ひろし</sup>氏を講師に、学習館で展示されている県指定有形民俗文化財のカマ神について講話。参加者らは郷土の歴史に聞き入り、先人から受け継いだ貴重な文化財を火災から守るため、防火訓練に真剣な表情で取り組んでいました。

## 年初め地区のつながり再確認

西野コミュニティ運営協議会の「新春懇談会」は1月11日、米山農村環境改善センターで開かれ、西野地区の各行政区、交通安全協会や小中学校の関係者ら38人が参加しました。  
懇談会では、シンガーソングライターのかおる氏による歌謡ステージや参加者の舞踊などが披露。参加者は、今後の地域おこしや地域への関わり方などを話題に、年に1度の顔合わせを楽しみ、地区のつながりを再確認しました。



米山

## 寒さ切り裂き気合が飛び交う

「第66回石越町剣道大会」(石越町剣道協会主催、工藤<sup>こう</sup>志会長)は1月19日、石越体育センターで開かれ、石越町域内の剣道愛好家約40人が白熱した試合を展開しました。  
石越町剣道大会は、今回で66回目となる歴史と伝統ある大会。参加者は、年代別の紅白試合や個人戦でしのぎを削った後、各年代の優勝者が総合優勝をかけて競い合いました。選手たちは、日頃の成果を出し合いながら、冬の寒さを吹き飛ばすほどの気合を見せていました。



石越

## 郷土かるたで地域の歴史学ぶ

「新春郷土かるた大会」(南方公民館、南方町子ども育成協議会共催)は1月19日、南方農村環境改善センターで開かれ、南方地区の小中学生ら91人が参加しました。  
大会は、南方町の歴史や史跡、名勝、特産物などが描かれた郷土かるたを使い、未就学児や小中学生が出場する個人の部と行政区やスポーツ少年団が出場する団体の部で競いました。参加者らは、楽しく交流しながら地域の歴史を学びました。



南方



津山

## 福を願った横山不動尊豆まき

横山不動尊の「節分豆まき」は2月2日、横山不動尊境内で開かれ、老若男女約300人が福を求めて訪れました。  
太鼓の音が響き渡る中、「福は内、鬼は外」の元気な掛け声に合わせて本堂で祈禱された豆袋がまかれると、訪れた人たちは歓声を上げながら、多くの福を呼び込もうと競って豆袋を集めていました。当たり付きの「福豆」が入った豆袋を拾った幸運な人には、福升や福飴などの縁起物が贈られました。

# 9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

## 令和初日の出を拝み健康祈願

今年で45回目を迎えた「元旦あるけあるけ大会」は1月1日、森地区内で開かれ、子どもからお年寄りまで約100人が森公民館を発着点とした約5<sup>キロメートル</sup>のコースを歩き、ゴールを目指しました。  
参加者は、休憩地点の上行寺境内で初日の出を拝みながら、それぞれ新年の決意や健康を祈願。ゴールした後は抽選会が開かれ、最後に参加者全員でご来光に向かって笑顔いっぱいの記念撮影をしました。

## 力強い音色が響き新年を祝う

「令和2年新春懇談会」(同実行委員会主催、佐藤<sup>さとう</sup>貞一実行委員長)は1月10日、とよま観光物産センター「遠山之里」で開かれ、町内から88人が参加し、新年を祝いました。  
懇談会では、とよま日根牛太鼓「桜乃会」がオリジナルの演奏曲「鼓音」と「来福」を披露。新春にふさわしい華やかで明るいリズムに、参加者から盛大な拍手が送られました。演奏後は、和やかな雰囲気の中で歓談しながら、地域のさらなる発展を願いました。



登米



東和

## 東和中で生徒の胸打つ講演会

「東和地区青少年育成講演会」は1月23日、東和中学校(千葉純子校長、生徒188人)で開かれ、生徒や教員など約200人が受講しました。  
講演会は、上田情報ビジネス専門学校の比田井<sup>ひだい</sup>和孝副校長が講師を務め、自身の経験を元にしたテーマ「与える者は、与えられる」と題して熱く講演。受講者の中には感動して涙を流す人もおり、「人として大切なことをあらためて考え、実行していこうと思った」と感想を話していました。

## 白銀の世界で雪遊びを楽しむ

自然体験交流事業「シンドバットの冒険と友だちづくり」(浅水コミュニティ運営協議会主催、羽生進<sup>はね</sup>進会長)は、1月18、19の両日、秋田県横手市で開かれ、浅水小学校と横手市の増田小学校の児童26人が参加しました。  
交流事業は、互いの地域を訪問し合い、自然体験学習を通じた交流を深めることが目的。児童らは、横手焼きそば作りやソリ滑り、スキーなどで雪いっぱいの横手の冬を楽しみながら、地元の児童らと交流を深めました。



中田